

様式第1号（用紙 日本産業規格A4縦型）

訪問看護ステーション設置促進事業費補助金交付申請書

第 号
令和7年〇月〇日

静岡県知事 鈴木 康友 様

所在地は会社（開設者）の所在地として下さい

※ステーションの住所≠本社の住所の場合は注意

所在地 静岡市葵区追手町9番18号 静岡中央ビル8F

名称 株式会社しずおかけん

（訪問看護ステーションしずおかけん）

代表者 代表取締役 静岡 太郎

代表者の役職名を忘れずに

令和6年度において訪問看護ステーション設置促進事業を実施したいので、補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請します。

1 交付申請

- (1) 金額 2,289,000 円
(2) 事業の目的

全体事業費でなく補助金額を記入
（事業費の1/2 かつ上限2,480,000 円）

様式2号の6（1）の目的と同じ内容か、要約した内容を記載してください。

口座振替先 金融機関名 静岡銀行
支店名 県庁支店
口座種別 普通
口座番号 XXXXXXXXX
口座名義人(か) カシズオケン

（注）以下の項目についても記載すること。

責任者 職・氏名 管理者・清水 次郎
作成者 職・氏名 事務・蒲原 三郎

- ・補助金の申請者名義の口座情報を記載してください
- ・過去、県庁から補助金等の振込を受けた事が無い場合には口座情報の登録が必要です。（メールに添付した、届出様式を作成、提出してください）
- ・申請者名義でない口座（ステーション名義の口座）を記載する場合は、委任状の作成が必要になります。手続きについてはご相談ください

管理者＝この書類の提出の最終決定をする人
作成者＝この書類を作成した人
※管理者＝作成者となる場合でも両方記入して下さい

（表）

事業計画書

1 訪問看護ステーションの開設者名、名称、所在地

開設者名	株式会社しずおかけん
訪問看護ステーションの名称	訪問看護ステーションしずおかけん
所在地	静岡市葵区追手町9番6号

2 建物の所有状況等

	区分	床面積	建物の形態
建物	自己所有		自宅
	今回購入	△△㎡	○ マンション等の一室
	○ 借 上		その他（ ）

（注） 該当する区分に○を付すこと。

（注） 建物の外観及び内部の状況がわかる写真を添付すること。

写真の画像データのメール送付でも受け付けます

3 配置従業員数

		看護師		准看護師		保健師		理学療法士、 作業療法士又 は言語聴覚士	
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
従業員数	常 勤	3	1					1	
	非常勤	2		2					
	常勤換算後の人数	4	0.5	1.6					

1枚目の書類作成時点での従業員の状況を記入

4 開設計画

訪問看護ステーションの開設年月日 : 令和7年4月1日

5 立ち上げ初年度の利用予定者数

1か月当たりの利用予定者数 : 20 人

(裏)

6 訪問看護ステーションを新規に設置する目的及び理由等

(1) 設置する目的及び理由

法人の定款などを参考に記載してください。

(2) 設置後の運営及びサービス提供の考え方

サービス提供地域	××市、□□市の一部
法人の定款などを参考に記載してください。	

(注) 運営規定及び組織体制がわかる書類を添付すること。

事業計画書提出時点から変更ない場合は、提出不要です

経費所要額調

（単位：円）

総事業費 (A)	寄附金その他の 収入額 (B)	差引事業費 (A)-(B)= (C)	補助対象経費の 実支出（予定）額 (D)	補助基準額 (E)	選定額 (F)	補助所要額 (G)	備考
③-2経費明細の合計から 自動反映されます。 一致しているか確認してくださ い。		他の補助金を利用してい る場合には金額を入力 無ければ「0（ゼロ）」を入力					
4,578,000	0	4,578,000	4,578,000	4,960,000	4,578,000	2,289,000	

（注）

1 E欄は、別表に定める基準額を記入すること。

2 F欄は、D欄の額とE欄の額を比較して、いずれか少ない額を記入すること。

3 G欄は、C欄の額とF欄の額を比較して、いずれか少ない額に別表に定める補助率を乗じた額（1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てた額）を記入すること。

経費所要額明細書

（積算内訳）

（単位：円）

区分	金額	積 算 内 訳
給料	4,080,000	常勤職員 @350,000円×2名×4月＝2,800,000 非常勤職員 @320,000円×1名×4月＝1,280,000
職員手当	498,000	通勤手当 @1,500円×3名×4月＝18,000 社会保険料 @60,000円×2名×4月＝480,000
報酬		【人件費計上の場合の注意点】 注意1:内示日の月分も費用計上する場合には、日数按分をして下さい。 <u>(例) 10/16付で内示の場合</u> 10月分:320,000円×16/31＝165,161円 (小数点以下切捨) 11～3月分:320,000円×5ヶ月＝1,600,000円 注意2:賞与(ボーナス)を対象にする場合にも、ボーナスの算定期間によっては 按分して計算してください <u>(例) 10/16付内示で12月支給賞与(6～11月評価)を対象とする場合</u> ⇒1か月(11月分)と16/31か月(10月分)を対象として計算 ①10月分:500,000円×1/6＝83,333円(小数点以下切捨) ②11月分:500,000円×1/6×16/31＝43,010円(小数点以下切捨) ①＋②＝126,343円 注意3:企業側負担も含め社会保険料全額を対象とする場合には、調整減
賃金		
共済費		
旅費		
需用費		
役務費		【人件費以外計上の場合の注意点】 注意1:備品・消耗品等は、内示日以降に購入したものしか対象にできません。 ※契約日・発注日が内示日以降でないとダメです 注意2:固定経費(水光熱費・賃借料・リース料・会計士等の顧問料等)を対象にする場合で、内示日の月分も費用計上するには、日数按分をして下さい。 <u>(例) 10/16付内示で10月も計上する場合</u> 10月分:5,000円×16/31＝2,580円(小数点以下切捨) 注意3:訪問看護ステーションで使うものでないと対象にできません(併設施設用のサーモカメラ等の訪問看護業務に使わないとわかってしまう器具、医師・薬剤師等の訪看に所属しないスタッフ用の医療機器、薬品の購入費用
委託料		
使用料及び賃借料		
備品購入費 (備品の設置に伴う工事費を含む。)		
請		
合 計	4,578,000	金額欄の合計が自動反映されます。 シート③所要額とシート④予算書の自動反映にも影響するので、間違いがないかご確認ください。

（注）科目別に積算内訳を記入すること

収支予算書

1 収入の部

区 分	予算額		比 較		備 考
			増	△減	
	円	円	円	円	
県補助金	2,289,000				自動計算されますので数字が入力されているのか確認して下さい。 ※③所要額から転記。 総事業費の1/2(千円未満切り捨て)
自己資金	2,289,000				
計	4,578,000				自動計算されますので数字が入力されているのか確認して下さい。 ※同じ金額が入ります。

2 支出の部

区 分	予算額		比 較		備 考
			増	△減	
	円	円	円	円	
訪問看護ステーション設置促進事業	4,578,000				
計	4,578,000				